

製品安全データシート (SDS)

作成日：2009年 7月 23日
最新改訂日：2015年 3月 31日

1. 製品および会社情報

製品の名称	クレフノン
会社名	白石カルシウム株式会社
住所	東京都千代田区岩本町 1-1-8
担当部門	食品アグリ資材部
電話番号	03-3863-8914
ファックス番号	03-3864-0560
推奨用途および使用上の制限	りんご用果皮障害軽減剤、銅水和剤の薬害軽減剤、温州みかん用浮皮軽減剤等

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外	
	可燃性・引火性ガス	分類対象外	
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外	
	高圧ガス	分類対象外	
	引火性液体	分類対象外	
	可燃性固体	分類できない	
	自己反応性化学品	分類対象外	
	自然発火性液体	分類対象外	
	自然発火性固体	分類対象外	
	自己発熱性化学品	分類対象外	
	水反応可燃性化学品	分類対象外	
	酸化性液体	分類対象外	
	酸化性固体	分類対象外	
	有機過酸化物	分類対象外	
	金属腐食性物質	分類できない	
	人健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
		急性毒性（経皮）	分類できない
		急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
		急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
急性毒性（吸入：粉じん）		分類できない	
急性毒性（吸入：ミスト）		分類対象外	
皮膚腐食性・刺激性		区分外	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分 2B	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		区分外	
生殖細胞変異原性		分類できない	
発がん性		分類できない	
生殖毒性		分類できない	
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類できない		
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類できない		
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない	
	水生環境急性有害性	区分外	
	水生環境慢性有害性	区分外	

絵表示またはシンボル

- ・なし
- 注意喚起語 ・警告
- 危険有害性情報 ・眼刺激性
- 注意書き
- 【予防策】 ・使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じんを吸入しないこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保護眼鏡／保護面を着用すること。
- ・指定された個人用保護具を使用すること。
- 【対応】 ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・下記の場合、直ちに医師の診断／手当てを受けること。
- 眼の刺激が続く場合
- 気分が悪いとき
- 【保管】 ・直射日光を避け、密封して冷暗所に保管すること。
- 【廃棄】 ・内容物、容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。

3. 組成および成分情報

単一化学物質・混合物の区別	混合物	
化		
学名または一般名	炭酸カルシウム・酢酸ビニル系樹脂粉末混合剤	
成分及び含有量		
化学名	炭酸カルシウム	酢酸ビニル系樹脂粉末
濃度	97%	3%
化学式	CaCO ₃	非公開
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	(1)-122	非公開
CAS No.	471-34-1	非公開

4. 応急処置

- 吸入した場合
- ・被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合
- ・皮膚を速やかに洗浄すること。
- 目に入った場合
- ・水で数分間注意深く洗うこと。
 - ・眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合
- ・口をすすぐこと。
 - ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状
- ・吸入した場合；咳

5. 火災時の措置

消火剤

- ・この製品自体は、燃焼しない。
- ・周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

特有の消火方法

- ・危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

- ・消火作業の際は、周辺火災に応じて適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
-

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項保護具及び緊急時措置

- ・直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
- ・関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

- ・河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
- ・環境中に放出してはならない。

回収、中和

- ・漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。

二次災害の防止策

- ・床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

- ・「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

- ・粉じんを吸入しないこと。
- ・空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

接触回避

- ・「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策

- ・保管場所には必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。

混触危険物質

- ・「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管条件

- ・直射日光を避け、密封して冷暗所に保管すること。

容器包装材料

- ・包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。
-

8. 暴露防止および保護措置

暴露限界値

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 炭酸カルシウム

ACGIH (年版)

TLV-TWA 10mg/m³ (Total dust) A4

設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には必要に応じて洗眼器と安全シャワーを設置する。 粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために、換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	必要に応じて適切な保護手袋を使用すること。
眼の保護具	必要に応じて個人用の眼の保護具を使用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的および化学的性質

物理的状态	類白色水和性粉末
臭い	無臭
pH	8.9
融点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	不燃性
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度 (空気 = 1)	データなし
比重 (密度)	2.9
溶解度	水に微溶解 酸に溶解
自然発火温度	不燃性
オクタノール/水分配係数	データなし

10. 安定性および反応性

安定性	通常取り扱い条件 (常温) では安定
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	粉じんの拡散
混触危険物質	強酸
危険有害な分解生成物	なし

11. 有害性情報

急性毒性	:	経口	ラット	LD ₅₀	>5000mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	:	ウサギ			陰性
眼に対する重篤な損傷・刺激性	:	ウサギ			僅かに刺激性あり
呼吸器感作性又は皮膚感作性					
呼吸器感作性:					データなし
皮膚感作性:					モルモット 陰性

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類急性毒性:	コイ	LC50 (96hr.)	>1000mg/L
	ミジンコ類急性遊泳阻害:	オオミジンコ	EC50 (48hr.)	>1000mg/L
	藻類生長阻害:	<i>Selenastrum capricornutum</i>	Er C50 (72hr.)	>1000mg/L
残留性・分解性				データなし
生体蓄積性				データなし
土壌中の移動性				データなし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物** 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
- 汚染容器及び包装**
 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

- 国際規制**
 海上規制情報 非危険物
 航空規制情報 非危険物
- 国内規制**
 陸上規制情報 特段の規制はない
 海上規制情報 非危険物
 航空規制情報 非危険物
- 特別の安全対策** 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

- 消防法 : 該当せず
 毒物及び劇物取締法 : 該当せず
 労働安全衛生法（安衛法） : 該当せず
 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法） : 該当せず
 化学物質排出把握管理促進法（化促法） : 該当せず
 その他 : 農薬取締法 登録番号第 9385 号

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報をもとに、一般的な取扱いをした場合の安全な取扱いについて記載したもので、物理化学的性質、危険・有害性に関していかなる保証をするものではありません。特殊な条件で使用する場合には用途に適した安全策を施して使用下さい。
 また、新たな情報を入手した場合は追加、訂正することがあります。